東京23区が
見える。
わかる。

ワンツースリー
One23

Vol.33
2018 SUMMER

公益財団法人特別区協議会　特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

この時期誰でも楽しめる 行事・イベント

23区 夏編

- ■ クマなくさんぽ …「葛飾柴又寅さん記念館」
- ■ とくべつクマ特別調査 23区の1(ワン)・2(ツー)・3(スリー) …アニメ制作会社数ランキング
- ■ 所蔵資料蔵出し …「東京市統計図表」
- ■ 「葛飾柴又」紹介展示を開催します

\答えは中面に!/

アニメ制作会社が
一番多い区は
どこでしょう?

Question

とくべつクマ®

この時期誰でも楽しめる 23区 夏編 行事・イベント

千代田区

納涼の夕べ

600もの灯ろうによる幻想的な夏の夜をお楽しみください。7/27 18:30(予定)

千鳥ヶ淵ボート場(千代田区三番町2先)
問03-3556-0391　千代田区観光協会

中央区

～日本橋人形町の夏の風物詩～「せどもの市」

毎年8月第1週の3日間、水天宮前交差点から人形町交差点までの大通り両側の歩道に約30店舗の陶磁器問屋が軒を連ね、大勢の方でにぎわいます。

中央区日本橋人形町(人形町通り)
問03-3546-5216　企画部広報課

世田谷区

8月4日・5日開催！第41回 せたがやふるさと区民まつり

太鼓や阿波踊りなどが迫力の「せたがやまつりざん舞！」や全国35の交流自治体による物産展など、熱気に包まれる2日間です！

世田谷区民会館、世田谷区役所中庭、若林公園
問03-5432-3333　せたがやコール(8時～21時)

渋谷区

全恵比寿納涼盆踊大会

恵比寿地域の夏の風物詩です。恵比寿駅前広場が盆踊りを踊る老若男女でいっぱいになります。

JR恵比寿駅西口広場
問03-3463-1762　商工観光課

中野区

「チャンプルーフェスタ」(チャンプルー＝ごちゃ混ぜ)

毎年7月に開催され、14回目を迎えるお祭り。沖縄の「エイサー」を始め、和太鼓や津軽三味線など、さまざまな伝統芸能が「チャンプルー」で楽しめます。

中野駅周辺及び中野駅北口各商店街
問03-3228-8804　政策室広報分野

港区

今年は9日間に拡大！「お台場海水浴」

開催期間は7月28日～8月5日(予定)。更衣室、シャワー室、子ども向けのアトラクションなどもあります。地引網体験のイベントも。

港区台場1-4(都立お台場海浜公園)
問03-5500-2365　芝浦港南地区総合支所協働推進課

新宿区

第17回新宿エイサーまつり

沖縄の盆踊りであるエイサーを見ることができるほか、沖縄料理の屋台や伝統芸能の紹介もあります。

新宿駅東口・西口
問03-6681-4858　新宿エイサーまつり運営事務局

文京区

7月21日・22日は文京区夏の風物詩『第33回 文京朝顔・ほおずき市』！

徳川家ゆかりの伝通院とこんにゃくえんまで知られる源覚寺ほかで開催！鉢植え販売や催し物が行われます。

伝通院(文京区小石川3-14-6)源覚寺(文京区小石川2-23-14) ほか
問03-3813-3638
文京朝顔・ほおずき市実行委員会事務局(礫川地域活動センター内)

杉並区

井草森公園のヒマワリ畑

季節ごとにさまざまな花を楽しめる井草森公園。7月下旬には、交流自治体である北海道名寄市のヒマワリが見ごろを迎えます。

井草森公園(杉並区井草4丁目12番1号)
問03-3312-2111　広報課

豊島区

「東京大塚阿波おどり」

昭和46年から毎年8月下旬に行われています。1,000人以上の踊り手が参加し、15万人以上の観客が訪れます。

JR大塚駅南口周辺
問03-4566-2533　広報課

北区

北区指定無形民俗文化財「王子田楽」奉納

中世芸能を伝える王子田楽。色鮮やかな花笠をかぶり「舞童」となった子どもたちが雅やかに舞い躍ります。

場　所：王子神社(北区王子本町1-1-12)
開催日：8月5日(日)
問03-3916-1133
教育委員会事務局教育振興部飛鳥山博物館事業係

台東区

第31回下町七夕まつり

7月5日から7月9日まで、上野と浅草を結ぶかっぱ橋本通りで開催します。期間中は、竹飾り、大玉飾り、提灯などが通りを彩ります！

かっぱ橋本通り
問03-5246-1111
ときめき たいとうフェスタ推進委員会事務局

墨田区

第41回隅田川花火大会

江戸時代の「両国川開きの花火」を起源とする日本最古の花火大会。東京の夏の夜空を鮮やかに彩ります。毎年大勢の方が観覧に訪れます。

隅田川　第一会場：桜橋下流～言問橋上流
　　第二会場：駒形橋下流～厩橋上流
問03-5608-1111　隅田川花火大会実行委員会事務局

江東区

竪川河川敷公園 カヌー・カヤック場

毎年5月～ 10月末まで開場し、必要な道具は全部貸してもらえるので、初心者でも安心。都心で気軽に体験できます。

竪川河川敷公園西側(旧亀島橋～鉄道橋の間)
問03-5875-2319　竪川河川敷公園管理事務所

荒川区

第39回 あらかわの伝統技術展

約70名の職人が一堂に会し、江戸以来の伝統の技を紹介する「あらかわの伝統技術展」を開催します。展示・実演・販売の他、体験や抽選会等も楽しめます。

日時：平成30年7月6日(金)～8日(日)　午前10時から午後5時まで
場所：荒川総合スポーツセンター(荒川区南千住6-45-5)
※入場無料です。
問03-3807-9234　荒川ふるさと文化館

板橋区

成増阿波おどり

いたばし夏の3大祭りと言われる「成増阿波おどり」。踊り手・おはやしを含め3万5000人が訪れるにぎやかなお祭りとなっています。

東武東上線成増駅
問03-5998-6881　地域振興課成増地域センター

練馬区

練馬区独立記念日を彩る「花火フェスタ」

独立70周年記念事業として大好評を得た「花火フェスタ」。2年目の今年は、としまえんから夜空に打ち上げます。

場所：としまえん(練馬区向山3-25-1)
開催日：8月1日(水)
問03-5984-2389　商工観光課　まつり係

品川区

第64回大井どんたく夏まつり

8月25日(土)～ 26日(日)、大井町駅前がお祭り広場となります。ステージにグルメに夏を満喫。盆踊りは「品川音頭2017」の歌手も登場！？

大井町駅前中央通り
問03-3471-9740　大井どんたく夏まつり実行委員会

目黒区

第42回目黒区民まつり

気仙沼港で水揚げされたさんまを炭火焼にして無料で振舞うことから、毎年多くの方が来場する人気のイベント(9月16日開催)。

区立田道広場公園ほか
問03-5722-9291　文化・交流課交流推進係

大田区

みずどめのまい 水止舞(7月14日)

鎌倉時代から約680年続く地元の伝統芸能。雨乞いではなく、雨を止める祈りの行事です。

厳正寺(大田区大森東3-7-27)
問080-4931-4321　厳正寺水止舞保存協力会

足立区

約13600発の花火で彩る！第40回足立の花火

40回記念に1600発増発。レーザービームでライブ感溢れる今大会。ラストはもちろん黄金のしだれ桜。

荒川河川敷
問03-3880-5803　シティプロモーション課

葛飾区

第52回葛飾納涼花火大会

約1万3千発の花火が葛飾の夜空を彩る、夏の恒例行事。観客席と打ち上げ場所が近く、全身に打ち上げ音が響き、大迫力です！

葛飾区柴又野球場(江戸川河川敷)
葛飾区柴又七丁目17番13号地先
問03-6758-2222　葛飾区コールセンター(はなしょうぶコール)

江戸川区

金魚まつり ～金魚のふるさと江戸川区～

区特産の金魚を広く紹介し、淡水魚養殖業の振興を図るため始まった金魚まつりは今年で47回目を迎えます。金魚の展示即売や金魚すくいなど、楽しい催しがいっぱいです。

7月21日(土)・22日(日)行船公園(江戸川区北葛西3-2-1)
問03-5662-0403　広報課編集係

もっと活用しよう!

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは?

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約9万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料蔵出し

おすすめのほんだよ

特別区に関する資料から読み解いてみよう!

「東京市統計図表」昭和14年(1939年)発行

本書は、今から約80年前の昭和14(1939)年に東京市役所から発行された統計書で、多岐にわたる分野について鮮やかなグラフとともに統計値が掲載されています。本書から当時の特別区の地域の様子を見ていきましょう。

東京市とは

東京市は、明治22(1889)年に東京府内の15区を市域として発足し、昭和18(1943)年に東京都に移行するまで存在していました。昭和7(1932)年には、隣接している地域を編入するなどして市域を拡大し、この冊子が発行された当時には、すでに現在の特別区の存する地域とほぼ一致していました。(詳しい東京市の変遷はOne23 Vol.22 2015年秋号を参照ください。)

当時の状況・現在との比較

人口

1920年　1925年　1930年　1935年

區名	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年
全市	3,358,186	4,109,113	4,986,913	5,895,882
舊市部	2,173,201	1,995,567	2,070,913	2,247,368
麹町	65,692	56,379	58,711	60,327
神田	151,990	128,529	129,976	136,906

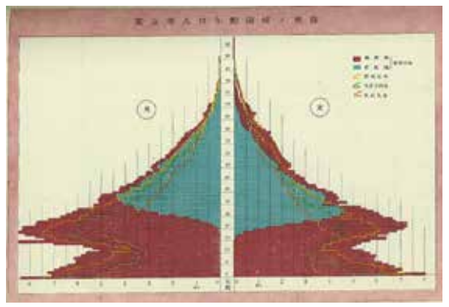
昭和10(1935)年の全市域の人口は約590万人であり、人口が増加してきていることが読み取れます。なお、平成30(2018)年現在の特別区部の人口は約940万人です。

土地の状況

今となってはイメージが沸きませんが、昭和12(1937)年の市域は田・畑・山林の合計が約40%を占めていました。平成23(2011)年現在の特別区部では、農用地、森林等の割合は2%程度となっています。

年齢構成

【昭和10(1935)年】



【平成30(2018)年】

出典:特別区統計情報システムにより作成

昭和10(1935)年の年齢の山は男女ともに20代前半と0歳にありました。平成30(2018)年現在の特別区部では40 ～ 44歳の層に山があり、構成は大きく様変わりしています。

人口密度

【昭和10(1935)年】

【平成30(2018)年】

出典:特別区統計情報システムにより作成

上図左は赤線の表示が濃いほど人口密度が高い地域です。昭和10(1935)年は、現在の台東区周辺にあたる地域の密度が高くなっていました。平成30(2018)年現在では、中野区、豊島区などの地域の人口密度も高くなっています。

今回取り上げた項目はほんの一部で、その他にも当時の世相を感じられる項目が数多く掲載されています。本書を見ながら当時の状況を思い浮かべてみてはいかがでしょうか。

特別区自治情報・交流センターでは、「23区と地方自治の専門図書館」として、23区の行政資料のほか、このような歴史的資料も収集しています。実際に手にとって閲覧することもできますので、お気軽にカウンターまでお声かけください。

こんなことやるよ

葛飾柴又紹介展示

【懐かしい下町情緒が残る寅さんのふるさと 葛飾柴又に寄っておくんなせぇ!】

寅さんの故郷として全国的にも名が知られている「葛飾柴又」。平成30年2月に「葛飾柴又」は、日本人の生活や生業の理解に欠かせない日本を代表する景観地のひとつとして、東京で初めて国の重要文化的景観に選定されました。

その「葛飾柴又」の魅力を誰よりも早く見出し、映画の舞台としたのが山田洋次監督です。柴又には、昭和を代表する映画『男はつらいよ』の魅力のすべてが詰め込まれた「葛飾柴又寅さん記念館」があります。

展示では、その「葛飾柴又寅さん記念館」をはじめ、昔ながらの参道のまち並みや賑わい、人気の観光スポットやイベント、山田洋次監督の「葛飾柴又」へのおもいなどを紹介しています。

映画『男はつらいよ』を知らなくとも、その舞台である寅さんの故郷を知らない人でも、昭和の面影が色濃く残る「葛飾柴又」へ寄ってみたくなる展示です。

帝釈天参道

展示スケジュール

開催日　平成30年7月10日(火)～8月16日(木)(日曜・祝日を除く)
展示時間　平日 午前9時～午後8時30分　土曜日 午前9時～午後5時
会　場　東京区政会館1階エントランスホール(千代田区飯田橋3-5-1)

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

クマなくさんぽ

葛飾区

寅さんがふらりと帰ってくる下町の情緒溢れる心の故郷「葛飾柴又寅さん記念館」

国民的人気映画『男はつらいよ』の世界と、その舞台になっている昭和の下町・葛飾柴又の風景を、さまざまな展示により伝え続ける「葛飾柴又寅さん記念館」。昨今では映画ファンのシニアのみならず若い世代も多く訪れるようになったという、同館の魅力に迫ります。

寅さんたちにまた会える場所

葛飾柴又を舞台に、主人公・寅次郎とそれを取り巻く人々が織りなす、人情味溢れる物語。映画『男はつらいよ』は、「寅さん」のキャラクターとともに長く愛されてきた、大人気シリーズ作品です。その『男はつらいよ』の世界にくまなく触れることができるのが、葛飾区にある「葛飾柴又寅さん記念館」です。

『男はつらいよ』の世界を再現

一番人気の展示は、実際の撮影に使用したセットを移設したという団子屋「くるまや」。寅さんが帰ってくる場所であるこのくるまやで、数々の名場面を観ることができます。ほかにも、倍賞千恵子さん演じるさくらのナレーションとともに楽しめる可動式のジオラマや、本物の活版印刷機が置かれたタコ社長の「朝日印刷所」、遠近法を用いて精巧に再現された「昭和30年代の帝釈天参道」の街並みなど、こだわりを感じる展示が並びます。

寅さんが、気の向くままに日本のあちこちを旅するという『男はつらいよ』のお約束から、後半の展示は鉄道をテーマにしたものがメインとなっています。柴又の駅舎を再現したコーナーには、地元を走る京成電鉄で昭和の時代に実際に使用されていた物を数多く配しています。寅さんが愛した鈍行列車の車両も、昭和の風景を忠実に再現しています。最近はBSでの再放送などをきっかけに寅さんファンになった若い世代の来館者も増えているといいます。古き良き昭和の時代と寅さんの世界観は、その時代を知らない若い世代にも懐かしさや温かさを感じさせるようです。

下町と寅さんの世界を永遠に

寅さん記念館は、“永遠に未完”という山田洋次監督の意志を反映し、1997年の開館以来3年に一度のリニューアルを重ねてきました。リニューアルは毎回、寅さんの生みの親であり名誉館長も務める山田洋次監督が全面的に関わり、製作・配給の松竹株式会社の協力も得て行われています。ちょうどリニューアルの年にあたる今年度は、これまでよりもかなり大規模な改装が予定されているそうです。来年、新たにパワーアップした「寅さん記念館」に、来場者激増の期待が高まります。

また、山田洋次監督の映画作りへのおもいが込められた山田洋次ミュージアムが併設されています。

入口
入り口には看板の文字を取り付ける寅さんが。漢字が苦手なので四苦八苦しています。下には寅さんが落とした雪駄も。

「くるまや」のセット
撮影所から移設した「くるまや」には、黒電話やちゃぶ台など昭和30年代のものがあちこちに。

生まれも育ちも葛飾柴又コーナー
寅さんが少年時代を過ごした昭和30年代の帝釈天の街並みを、遠近法を用いて再現。

寅さんが愛した鈍行列車の旅
寅さんが日本国中旅した鈍行列車のボックスシート。網棚には愛用のトランクも。

なつかしの駅舎
駅員が一枚ずつ切符を切っていた時代の駅舎を再現。舎内には、地元の鉄道会社から寄託されたものがたくさん。

タコ社長の「朝日印刷所」
タコ社長が経営する活版印刷工場を再現。インクのにおいまで漂います。

葛飾柴又寅さん記念館©松竹㈱

topics 夏場の限定イベント

同館のある葛飾区観光文化センター内に、7月から期間限定でスケートリンクが登場予定。葛飾柴又寅さん記念館とともに楽しみたい。

葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム

所在地　葛飾区柴又6-22-19 葛飾区観光文化センター内
開館時間　9:00 ～ 17:00（入館は16:30まで）
休館日　第3火曜日（祝祭日の場合は直後の平日）、12月の第3水・木曜日
入館料　一般¥500、児童・生徒¥300、シルバー・団体¥400
お問合せ　03-3657-3455

とくべつクマ特別調査

23区の 1(ワン)・2(ツー)・3(スリー)

約9割が東京にある
アニメ制作会社!
23区内で一番多いのは
どこだろう?

アニメ制作会社※1数ランキング

1位 **杉並区(138社)**

2位 **練馬区(103社)**

3位 **中野区(30社)**

(出典)一般社団法人日本動画協会「アニメ産業レポート2017」

※1　アニメ制作会社とは、企画・制作、脚本、演出、原画、動画、CG(2D・3D)、背景・美術、特殊効果、撮影、編集の機能を持つ事業者を指す。

杉並アニメーションミュージアム

所在地　杉並区上荻3-29-5 杉並会館3階
利用時間　10:00～18:00
(入館は17:30まで)
休館日　月曜日(祝祭日の場合は翌日)、
年末年始(12月28日～1月4日)
入館料　無料
お問合せ　03-3396-1510

1位は杉並区。杉並区のアニメ制作との関わりは昭和39年から始まっているんだって。アニメの街・杉並を象徴する人気のスポット「杉並アニメーションミュージアム」で、お話を聞いてきたよ。

日本屈指のアニメの街・杉並区

全国に622社あるアニメ制作会社のうち、542社が東京に集中しています。そのうちの138社が立地する杉並区は、市区町村の中で全国1のアニメ制作会社数を誇る、アニメの街として知られています。アニメの街・杉並は、昭和39年に東京ムービー(現　トムス・エンタテインメント)が区内に移転してきたことから始まりました。その後、「機動戦士ガンダム」で有名なサンライズ、「おおかみこどもの雨と雪」のスタジオ地図など、テレビや映画でおなじみの作品を手がける制作会社が数多く集まってきました。杉並区では、アニメ制作会社の集積を地域の特性としてとらえ、様々な施策を行っています。

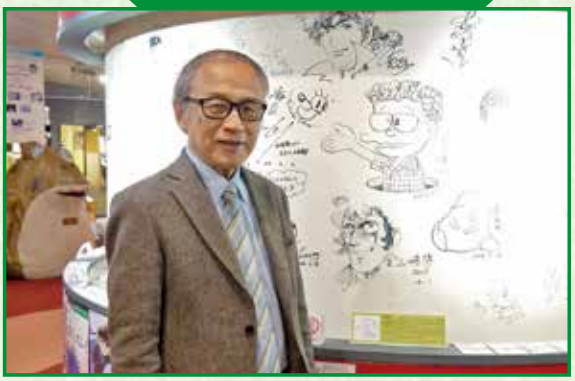
アニメの聖地「杉並アニメーションミュージアム」

「杉並アニメーションミュージアム」は、日本初のアニメ専門の施設として平成17年3月に開館しました。入り口では、著名なアニメ監督や漫画家、声優などの直筆サインがびっしり書かれた柱がお出迎えしてくれ、その先に広がるアニメの世界への期待感が高まります。続く日本のアニメの歴史コーナーでは100年分のアニメ作品が紹介されていて、見るひとそれぞれが幼い頃に大好きだったアニメを探し出してノスタルジーに浸ることができます。

アニメ史を眺めた後は、アニメの原理や制作の過程など、アニメ全般について総合的に学ぶことができます。アニメの映像に自分の声を吹き込む「アフレココーナー」や、手描きやデジタルで簡単なアニメを作る「制作コーナー」もあり、観て体験して楽しむことができるのも施設の魅力のひとつです。ほかにも、人気アニメの情報を盛り込んだ企画展の開催や、さまざまなアニメ作品を上映するミニシアター、アニメの資料を収蔵したライブラリーなど、アニメをテーマにした魅力あるコンテンツが揃っています。

同施設には国内外から世代を問わず多くのひとが訪れていて、今年は全世界の日本アニメファンが選ぶアニメの聖地88※2に認定されました。昨年は、年間約6万人の来場者のうち1割強である約7千人もの人たちが海外から訪れました。英語、フランス語、中国語、韓国語の音声ガイドも用意され、アフレココーナーでも外国語でのアフレコを体験することができます。アニメの聖地「杉並アニメーションミュージアム」は、国境を越えた文化交流の地として、これからますます人気のスポットになっていくのではないでしょうか?

※2　一般社団法人アニメツーリズム協会が全世界のアニメファンにweb投票を募り決定した日本国内88箇所のアニメ聖地



▲鈴木伸一館長は、「オパケのQ太郎」等に登場する「ラーメン大好き小池さん」のモデルになった人物。漫画家、アニメーション作家として長きにわたり活躍されている。「当施設でアニメとアニメ制作の面白さにふれた子どもたちから、未来の日本のアニメ産業を背負って立つ人材が生まれるのを楽しみにしています」と話す。

▶日本のアニメの歴史を、年表・画像・映像などでわかりやすく紹介しています。

▲アニメ「鉄腕アトム」のアフレコにチャレンジできます。

▲色塗りや編集といったアニメのデジタル制作コーナー。

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。ぜひご参加ください。
※講座や企画の詳細は（公財）特別区協議会ホームページ（HP）をご覧ください。

東京区政会館１階展示スペース

東京区政会館１階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけます。

開催時間　平日｜9:00～20:30　土曜日｜9:00～17:00　日祝｜休館
（公財）特別区協議会 HP　http://www.tokyo-23city.or.jp/

葛飾柴又紹介展示
懐かしい下町情緒が残る寅さんのふるさと
「葛飾柴又に寄っておくんなせぇ！」

主催　葛飾区・（公財）特別区協議会
日時　平成30年7月10日（火）～ 8月16日（木）

特別区全国連携プロジェクト
平成30年度第1回
全国連携展示（北海道町村）

主催　特別区長会
（公財）特別区協議会
日時　平成30年8月21日(火)
～ 9月27日(木)

こんにちは！「とくべつクマⓇ」です

23区のあれこれを広く皆さんに知ってもらいたいという特別な思いを胸に活動している公益財団法人特別区協議会の公式キャラクターが「とくべつクマ」です。

東京区政会館１階で行う展示の初日や各種イベントなどに登場します。

見かけたらぜひ声をかけてください。

プロフィールは次のアドレスで紹介しています。
http://www.tokyo-23city.or.jp/

編集後記

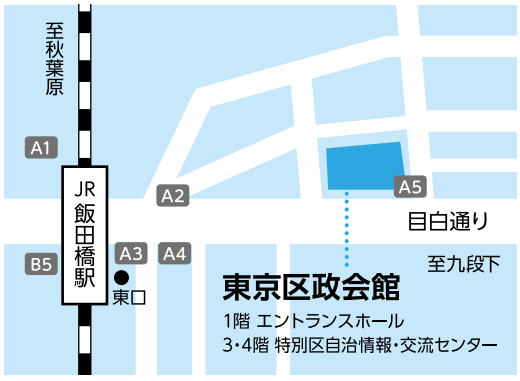
今号の特集は、「23区　この時期誰でも楽しめる行事・イベント（夏編）」です。

夏は、行事・イベントが目白押しの季節。今号で紹介したもの以外にもたくさんあると思います。いろいろ探して夏を楽しんでください。（H&F）

特別区自治 情報・交流センター

千代田区飯田橋3-5-1　東京区政会館
開館時間：（4階）9:30～20:30
（土曜日は9:30～17:00）
休館日：日曜日、祝日、年末年始等

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
http://www.research.tokyo-23city.or.jp/



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター　http://www.tokyo-23city.or.jp/
特別区協議会は特別区（東京23区）の自治の発展を目的として設立された公益財団法人です。
「One23（ワンツースリー）」（夏　vol.33）　2018年7月1日発行
発行／（公財）特別区協議会　事業部　企画編集・デザイン・印刷／三陽メディア（株）
〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
Tel. 03-5210-9912